

もくじ

- ・ いっすんぼうし

いっすんぼうし

げんさく 原作：
にほん むかしばなし 日本のお昔話

イラスト： イシイ アケミ

へんしゅう 編集：
YellowBirdProject

3

むかしむかし、あるところに、おじいさんと
おばあさんが^す住んでいました。

こ
子どものいなかった^{ふたり}二人は、毎日^{まいにち}神様^{かみさま}にお祈り^{いの}を
していました。

^{かみさま}「神様、^{ねが}お願いします。どうか^わわしらに、^{かわい}い
こ
子どもを^{さず}授けてください」

すると^{かみさま}神様は、^{ふたり}二人の^{ねが}願いを^き聞き入れて、^いそれは
それは^{ちい}小さな^{おとこ}男の子を^こ授けて^{さず}くれました。

その^こ子の^{おお}大きさは、^{いっすん}ほんの一寸ほどしかなかった
ので、二人はその^こ子に『一寸法師』と^{なづ}名付けました。



5

それから何年なんねんも経たちましたが、一寸法師いっすんぼうしはちっとも
おお大きくなりませんでした。けれども、おじいさんとおばあさんは、一寸法師いっすんぼうしに刀かたなの使い方つかや、侍かたとしての振ふる舞まい方かたなどを、厳きびしく教おしえました。

そのかいあって一寸法師いっすんぼうしは、とても親孝行おやこうこうな、
かしこ賢こい子どもそだに育そだちました。

ある日ひ、一寸法師いっすんぼうしは、おじいさんとおばあさんに
い言いいました。

「おじいさん、おばあさん、私わたしは旅たびに出でます。都みやこへ
い行いって、侍さむらいとしてお屋敷やしきに仕つかえたいのです」

ふたり二人はとてもおどろきましたが、かわいい子どもこの
せいちょう成長をよろこび、一寸法師いっすんぼうしが都みやこに行くことを許ゆるして
あげました。

